



を情報弱者にしないことが基本であること。あわせて文化を踏まえたコミュニケーションを取ることで、外国人とのトラブルを避けられることが紹介された。外国人支援のポイントについては、外国人でもわかりやすい「やさしい日本語」を用い、外国人自らが災害時に行動がとれるように、言葉ではなく絵で情報を伝える「ピクトグラム」を用意して、情報を迅速に伝えるため「SNS」で情報発信していくことの重

要性が語述べられた。

さらに、被災した外国人自身も支援の担い手となる可能性を検討することにも言及があり、いざというときによりスムーズな情報提供や安否確認、ニーズ把握を実現するためには、平時から外国人と顔の見える関係作りを行うことが大切であることが語られた。

災害時こそ、単なる多言語による情報発信だけでなく、外国人が置かれている状況や文化・考え方などを配慮した、より丁寧で、分かりやすい情報発信が求められる。

問い合わせ先

問い合わせ先 : 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会事務局
東京都オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部

電話番号 : 03-5388-2169